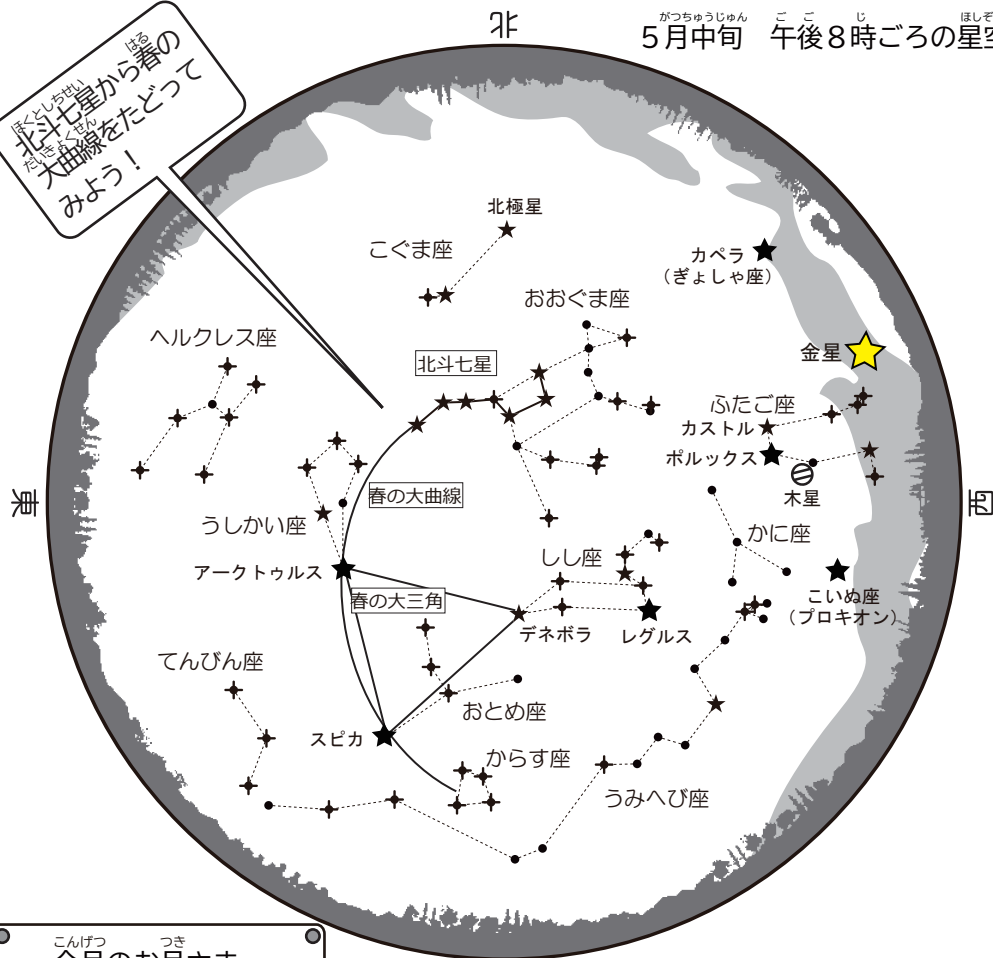


★ 星空だより

2026年5月
No. 186
富山市科学博物館

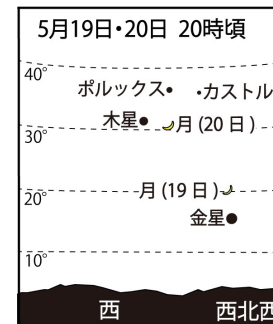


北斗七星から春の大曲線をたどって
みよう!



ほそ つき きんせい もくせい なら み 細い月と金星・木星が並んで見える

5月19日と20日の夕方、西の空で細い月と惑星の共演を楽しむことができます。19日は金星、20日は木星が、細い月と並んで見えます。また木星のそばにはふたご座のカストルとポルックスも輝いています。この二日間で惑星と月の位置を見比べてみると、月が一日でどのくらい動いたかを実感しやすいでしょう。



★ 黄道十二星座紹介 ☆おとめ座★



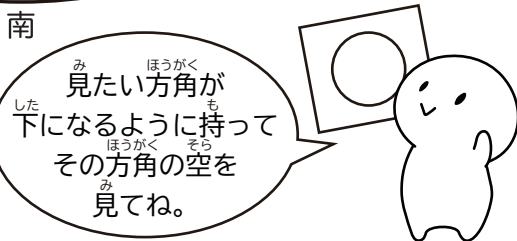
おとめ座は、ギリシャ神話の農業の女神デーメーテルの姿と言われています。娘のペルセポネは冥界の神ハデスの妻になりました。ペルセポネが冥界にいる間、デーメーテルは悲しさのあまり洞穴に閉じこもってしまうため、地上は草木が枯れる冬になります。こうして四季が生まれたといわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道(黄道)に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

～今月のお月さま～

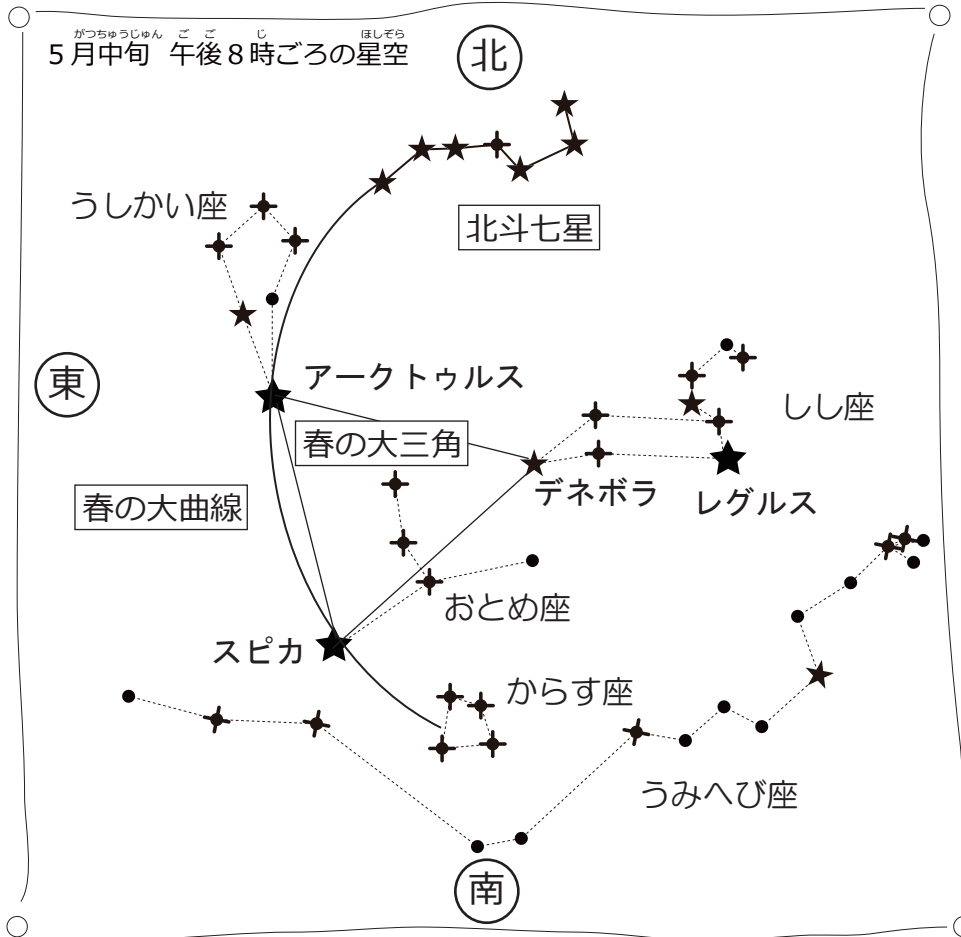
5月 2日	満月	○
5月 10日	下弦	◐
5月 17日	新月	●
5月 23日	上弦	◑
5月 31日	満月	○



ほしぞらかんさつかい 毎週土曜日の夜に開催。
星空観察会
詳しくはウェブサイトをご覧ください。

今月の さがしてみよう

春の大曲線



春の大曲線は、北斗七星の「スプーン」の形をした星々の持ち手の先から、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカとつないでできる大きな曲線です。この大曲線はスピカからさらに伸ばして、からす座までと説明されることもあります。からす座までのばすと、「アークトゥルス→スピカ→からす」と、しりとりになりますよ。

今月のオススメ星座！

からす座



4つの3等星が作る小さな四角形の星座です。春の大曲線の終点にあり、形が整っているので、比較的探しやすい星座です。かつて富山県立山町では、船の帆の形に見たてて「帆かけ星」と呼んでいました。

うみへび座



かに座の南に頭があり、暗い星を東にたどって長いへびの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、頭からしっぽまで全部見られるのは今の季節だけです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

天文コラム

今年一番遠い満月

5月31日の満月は、満月になるときの位置が地球から今年最も遠いため、今年最も小さく見える満月となります。

反対に満月になる位置が地球から今年最も近くなって、最も大きく見える満月は、12月24日です。遠い時と近い時では、距離にして約5万キロメートル、見た目の大きさは約12パーセント違います。

2026年 満月の見かけの大きさの比較



2026年最も遠い満月
5月31日17時45分
約40万6,000km



2026年最も近い満月
12月24日10時28分
約35万7,000km

画像提供：国立天文台